

6月5日(月)

一 歩 ず つ 歩 む

聖書朗読 ヨシュア記 3:7~17

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

ヘブル 11:1

私の娘は小さい頃、バレルレース（馬に乗って樽やドラム缶の周りを走って速さを競う競技）に参加しました。ある日、娘は落馬し、馬は勝手にゲートの方へ走って行ってしまいました。娘は呆然と立ち尽くし、どうすれば良いのか分からないようでした。しかし、娘が馬の方へ何とか近づいて行こうとする様子に気付いた馬は、娘の方へと戻って来ました。私たちも日々の生活の中で、勝手な方向に走ってしまい、進むべき方向を見失うことが多々あるのではないのでしょうか？ つい目先の問題に気を取られ、冷静な判断が出来なくなることはありませんか？

アブラハムは敬虔な信仰を持つ者でした。アブラハムは自分が何処へ向かっているのか知りませんでしたが、神様に告げられた通り旅を始めました。また、イスラエルの人々がヨルダン川を横断する際には、神様は祭司たちに命じて、人々が川を横断し終るまで川の中に立たせました。今にも洪水になりそうな水深の川でしたが、信仰により祭司たちは神様のご命令通りに川へ足を踏み入れました。すると、直ちに水はせき止められ、人々は川を横断することが出来たのです。

神様のお力を信じましょう。そして、新たな正しい一歩を踏み出しましょう。神様が一歩ずつ私たちを導いて下さいます。

昇るべき階段が全て見えなくても、信仰により一段ずつ昇って行くことが出来ます ——マーティン・ルーサー・キング

聖歌 588

祈り 神様、いつも愛を与えて下さりありがとうございます。私たちの歩みを一歩ずつ導いて下さり感謝します。

御子、イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

リンダ・バルマン

ミシガン州 ベウラ

今日の力

2017年6月5日～6月11日

翻訳 伊藤若菜

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリスト教会

6月6日 (火)

エ リ コ の 陥 落

聖書朗読 ヨシュア記 6：12～21

事実、この世が自分の知恵によって神を知ることがないのは、神の知恵によるのです。それゆえ、神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです。
I コリント 1：21

エリコの陥落の出来事は、記録されている過去の出来事の中でも最も奇異な出来事の一つと言えるかもしれません。イスラエル人はエリコの城壁の外側で宿営し、町の周りを(角笛を吹き鳴らしながらも)無言で一周するというのを一日に付き一回、六日間連続で行いました。七日目は七回行進し、(七度目に行進した時には)司祭が角笛を吹き鳴らし、人々が叫び声を上げ行進しました。すると、城壁は崩れました。

「主はヨシュアに仰せられた。『見よ。わたしはエリコとその王、および勇士たちを、あなたの手に渡した。』」(ヨシュア 6:2)と書かれているように、イスラエルの人々は自分達の力によりエリコに勝利したわけではありません。エリコは、神様の御力により彼らに与えられたのです。イスラエルの人々は、神様のご命令に素直に従い、神様は彼らにエリコを与えました。

信じ従う者を祝福されるという、神様のご性質は変わることはありません。今も、御言葉を信じ、神様に従う人には同じようにして下さいます。福音は、神様を信じ従う者は全て救われると伝えています。「そのことは、今あなたがたを救うバプテスマをあらかじめ示した型なのです。バプテスマは肉体の汚れを取り除くものではなく、正しい良心の神への誓いであり、イエス・キリストの復活によるものです。」(I ペテロ 3:21)とペテロはバプテスマの意味を明言しています。(救いに与るためにどうしてバプテスマが必要なのだろう、とってしまうことがあるかもしれませんが、エリコの陥落の出来事が示しているように)、人の知恵ではなく、それよりもっと優れた神様の知恵・ご計画(宣教のことばの愚かさ)に私たちは信頼を置き、従って行くべきではないでしょうか。

聖歌 584

祈り 神様、信仰によりあなたに従うことを貫いた人々についての記録は、私たちの心を動かします。あなたがどのように彼らを導いて下さったかを知ると、心が高まります。あなたの知恵に耳を傾け、御言葉に従えるようお助け下さい。

御子、イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

スコット・ゲージ

アーカンソー州 フェーエットビル

6月7日 (水)

神 様 の 方 法 を 信 じ る

聖書朗読 士師記 7：4～8

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。 箴言 3：5

私たちはつい自分たちの理解力にのみ基づき、物事を考えがちです。神様なしでは私たち人間は無力な存在であることを今一度理解しましょう。

ギデオンのことを思い出して下さい。神様のご命令に基づいたギデオンの行動は、人々の理解(常識)を越えていました。3百人の人々が一体どうすれば2万2千人の軍隊を負かすことが出来ると言うのでしょうか。川辺での水の飲み方により兵士を選別しましたが、戦いで勝利するために、水の飲み方を基準にして兵士を選ぶとは、なんと不思議な選び方なのでしょう。

神様の方法は、私たちには理解が及ばない方法の場合があります。私たちの理に適った方法でやりたい、と私たちは思います。しかし、神様がお選びになる最善の方法は、私たちの考える方法と必ずしも同じではないのです。

私たちの考える計画だけに信頼を置き(神の御言葉に耳を傾けないのなら)、それは神様を信じていることにはならないでしょう。常に神様に耳を傾けましょう。全能の神様が私たちより優っているのは当然です。神様はいつもベスト(最善)をご存知なのです。

あなたが誰であっても、またあなたの敵が何でも、神様より勝る存在はありません。私たちのサタンとの戦いの結果は既に明らかです。神様が私たちについて下さっているのです。私たちの勝利は確約されているのです。

讃美歌 267

祈り 父よ、私たちの理解が及ばなくても、あなたがいつも正しい道へとお導き下さい。

御子、イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

スティーブン・クラーク・ゴード

カリフォルニア州 ブライズ

6月8日 (木)

不完全な者をお用いになる神

聖書朗読 士師記 7：15～21

もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つけるだろう。
エレミヤ 29：13

ギデオンは征服者の支配下に置かれている状況にうんざりしていました。また、神の御心が分からず困惑していました。奇跡を起こし、エジプトから人々を救い出して下さった神様は、なぜ（ギデオン達を）見捨ててしまわれたのか、と。

ギデオンはその疲れ切った心の内を、（彼が仕事をしていた）脱穀場を訪ねてきた人に打ち明けました。ギデオンはこの時、その訪問者が主の使いであることに気付いていませんでした。

ギデオンは（神の召しに対し）消極的で神のご計画をすぐに信じるのが出来ずにはいましたが、ギデオンが信じるができるように、神様は奇跡をギデオンに見せました。そして、ギデオンが住んでいた地域の偶像を壊すように指示しました。

ギデオンの心の準備は整いました。ミデヤン人と戦うために兵士3万2千人が集められましたが、神様は、戦うための兵士の数を大幅に削減すると仰せになりました。ギデオンは、わずか3百人の兵士と角笛、つば、たいまつで戦ったにも関わらず、ミデヤン人に勝ちました。戦いの際、兵士たちは「主のためだ。ギデオンのためだ。」と叫びました。この勝利はギデオンによる勝利ではなく、神様によって与えられた勝利です。

神様はあまりにも偉大な方なので、私たちの理解が及ばないことがあります。しかし神様は、私たちがいかに不完全であろうとも、神様のご計画を進め、完成することが可能なお方です。「神様は私のことなど忘れてしまったのではないか？」と私たちが思ってしまうような時でも、神様の御計画は着実に進んでいるのです。そして、私たちを導いて下さっているのです。自分のこれまでの歩みを振り返ると、いつも神様が共に居て導いて下さったことが分かります。神様のお導きに、心から従って歩んで参りましょう。

讃美歌 294

祈り 父なる神よ、これからも私の頑なな心を砕き、あなたのお導きに従っていただけるよう助けて下さい。

御子、イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ノーマ・プリヴィット

カリフォルニア州 サウザンドオークス

6月9日 (金)

十字架の恩恵

聖書朗読 ルツ記 4：13～17

私は知っている。私を贖う方は生きておられ、後の日に、ちりの上に立たれることを。
ヨブ記 19：25

ある春の日、3人の十代の若者が学校をサボって釣りに行くことにしました。家での生活の不満話で盛り上がり、その勢いで、3人でアラスカを目指して家出することになりました。メンバーの一人が車を持っていたので、みなポケットには小銭しか入っていませんでしたが、すぐに出発しました。

まずシアトルへ向かうことにしました。アラスカ行の船に乗り込み、船上でアルバイト出来るのではないかと淡い期待を持っていました。しかし、シアトルまでは2,100キロもありました。当時ガソリンは約4リットルにつき、19セントでした。また、彼らはガソリン代だけでなく、食料を買うお金も必要だと気が付きました。メンバーの1人が、道端に転がっている空き瓶に気が付きました。この瓶をお店に持ち込むと瓶1本につき2セント貰えました。これにより、1,600キロを進むだけのガソリンと食料を得ることが出来ました。しかしワシントン州まで来ると、すっかり空き瓶は見当たらなくなりました。なす術もなく、路肩に車を停めていた所、パトロール中の警察官が通りかかりました。彼らが事情を説明した所、浮浪者として逮捕されました（訳注：かつてアメリカ合衆国では、浮浪者であることを理由に逮捕されることがあった）。従って、今度は保釈金を払ってくれる人が必要になったのです。彼らのために保釈金を払ってくれる人はいたでしょうか？何と幸いなことに、ある人が現れて、支払ってくれました！

私たちも、自分の犯した罪から解放されるための代価を自分自身で支払うことは出来ないのです。しかし、それを支払ってくださる方、つまり救い主がおられるのです。救い主（イエス様）が、罪の代価を支払ってくださっているのです。なんと素晴らしい恵みなのではないでしょうか！

讃美歌 515

祈り 神様、私たちは時に迷子の羊のようになる時もあります。あなたがひとり子であるイエス様を私たちのために差し出して下さったことを、いつも覚えられますように。

御子、イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジョージ・V・モーテンセン

ワシントン州 カークランド

6月10日（土）

ハンナの祈り

聖書朗読 第一サムエル 1：9～20

ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

ヘブル 4：16

ハンナが涙を流しながら神に祈った時、彼女の心は苦しんでいました。心が苦しむ時、どうすれば良いのでしょうか？ 誰かに見つかる自分自身をもっと傷つくかもしれないので、苦しみを心の内に隠しておく人もいることでしょう。また、誰かに八つ当たりをして、関係のない人を傷付けてしまう人もいるかもしれません。心の痛みにより、絶望感で一杯になってしまう人もいるかもしれません。或いは、必要以上に忙しく生活して心の痛みを紛らわそうとする人もいるかもしれません。

サイモン＆ガーファンクルの有名な曲で「明日に架ける橋」（原題 Bridge over Troubled Water）があります。私は心が痛む時、この曲を思い出します。私たちが問題を抱える時、それを乗り越える橋が必要です。

ハンナは祈りにより、問題を乗り越えられることを私たちに教えてくれました。つまり、祈りが問題を乗り越える橋になったのです。ハンナの祈りは神様に届き、彼女は息子を授かりました。もし、あなたが心の痛みを抱えているのなら、祈りを通して神様にお伝えしましょう。私たちが望むタイミングではないかもしれませんが、神様は必ず私たちの祈りに応えて下さいます。聖書にも神様は必ず私たちの祈りに答えて下さると書いてあります。その祈りにより、私たちは問題を乗り越えることが出来るでしょう。

讃美歌 310

祈り 天なる父よ、全ての想いとともあなたに寄り頼みます。いつも私たちの祈りを聞いて下さり、ありがとうございます。あなたの愛を常に覚えられようお導き下さい。

御子、イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ロドニー・プランケット
テネシー州 メンフィス

6月11日（日）

家には何もありません

聖書朗読 II 列王記 4：1～7

イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国は、からし種のようなものです。」
マタイ 13：31

聖書時代、ある預言者が（借金を返済出来ないまま亡くなるなど）何らかの課題を残してこの世を去ることは、その預言者の妻にとって大きな試練を意味しました。未亡人となった預言者の妻が、エリシャに助けを求めました。なぜなら、（亡くなった夫が抱えていた）負債の支払いの代わりに、二人の子どもが奴隷として連れて行かれそうになったからです。エリシャの答えは、彼女の相談に対してエリシャが真剣に考えているのか、疑いたくならないような答えでした。「エリシャは彼女に言った。『何をしてあげようか。あなたには家にどんな物があるか、言いなさい。』彼女は答えた。『はしための家には何もありません。ただ、油のつぼ一つしかありません』」（II 列王記 4:2）。「何をしてあげようか」だなんて、問題解決の方策をエリシャは本当に知っているのだろうか、と未亡人は心配になってしまったかもしれません。

未亡人は法的に問題解決してくれる人とか大富豪に助けを求めたわけではありません。あくまでも預言者に助けを請うたのです。彼女には奇跡が必要だったからです。「奇跡できなく、法的手段或いは経済的手段でこの問題を解決できるのなら、わざわざ預言者エリシャに助けを求めたりしません。」と彼女は思っていたかもしれません。彼女は油のつぼ一つしか持っていないでして。しかし、神様の大きな御業がなされるためには、油のつぼが一つあれば、それで十分でした。つぼからは油が溢れんばかり注がれて、近所の人々から借りたたくさんの器が油で満たされ、その油を（借金返済のための）お金に換えることが出来ました。

私も神様に祈る時、自分は何も持っていないと思うことがあります。しかし、同じ状況でも、神様は違った視点から状況をご覧になります。どんな小さな物であっても、信仰をもってそれを用いるなら、神様はその小さな物を通して大きく働いて下さいます。私たちが自分たちの価値観から状況を判断するのではなく、神様の価値観・視点から判断しようとするとき、私たちに与えられている物、環境、友人たちが（神様からの）恵みとして感じられるようになるのではないのでしょうか。

讃美歌 494

祈り この世のすべてを造られた父よ、私たちが信仰の目を持って生きられるようお導き下さい。不安な時、気落ちしている時にもあなたは希望、忍耐力、癒しを与えて下さいます。

御子、イエス様の御名を通してお祈り致します。

デイビッド・レムリー
カリフォルニア州 マリブ